

桜6 S S S 悲願の全国 大会出場へ



名古屋市で開かれた「第8回全国小学生タグラグビー選手権大会東海大会」に出場した桜ヶ丘小学校6年生でつくる「桜6 S S S」チームが悲願の初優勝を果たし、3月の全国大会出場の切符を手に入れました。同校チームはこれまで東海大会では、ここ3年

連続準優勝とあと一步で涙をのんでいました。この日は、予選では惜敗した静岡県代表チームに対し、代表決定戦で巧みなパスとスピードで得点を重ね、見事勝利しました。あきらめない心で勝ち取った栄冠を胸に、東海代表として全国大会に出場します。

あんな事、こんな事

関市イメージキャラクター
「関*はもみん」



自らの命を守る「姿勢」

東日本大震災を機会に、防災を考える「市民防災講演会」が開かれました。群馬大学大学院の片田敏孝教授が講師となり「命を守る防災」について講演。片田さんは、津波ハザードマップの浸水想定区域外で多くの方が亡くなっていることを挙げ「人は想定を与えられ、それ以上のことを考えなくなる」と指摘。想定を無尽蔵に拡大することは不可能で、自らの命を守ることに主体的な「姿勢」が大切と呼びかけました。

初釜で抹茶を一服

上之保中学校内にある茶室「和敬清寂」で新春恒例の初釜会が開かれ、全校生徒や地域住民らに抹茶が振る舞われました。選択家庭科で茶道を学ぶ生徒6人が、抹茶と季節の和菓子でおもてなし。赤い毛せんの上に並んで正座した生徒たちは、かしくまった様子で作法どおり茶わんを手に取り、おいしいお茶を味わいました。春を感じる華やかな雰囲気の花会となりました。





貴重な文化財 火災から守れ

文化財防火デー(1月26日)を前に、市重要文化財がある関善光寺で消防訓練が行われました。自衛消防隊や消防団員、消防署員ら約40人が参加。本堂が出火元と想定し、通報で署員らが駆けつけ、消火栓から吸水し速やかにホースを伸ばして、本堂下の杉に目がけて一斉放水しました。貴重な財産である文化財を地域全員で協力し守ろうとする意識を高め、地域の防火・防災につなげようと誓い合いました。

魚を上手に食べよう

箸を使って頭付きの魚の骨を上手に取り、身をほぐして食べる日本の食文化を学び、積極的に魚を食べる意識を育てようと、安桜小学校で特別講義が開かれました。3・6年生児童が焼き魚(アマゴ)の食べ方を実践して楽しく学習。触るのを躊躇したり、悪戦苦闘している姿も見られたほか、慣れていて簡単に骨を取り除く児童も。教わった手順を確認しながら、おいしく魚を食べていました。



水辺環境・生物多様性を学ぶ

森林や水環境について考える出前講座「めだか教室」が瀬尻小学校で開かれ、6年生児童が受講しました。教室は、クロメダカをテーマに元東山動物園相談員の獣医師が解説。児童らは、水の流れとは逆向きに泳ぐ生態や周辺環境の違いで体の色を変えるなどの習性を学ぶとともに、メダカはきれいな水環境しか生息できない、ひいては生物が生きるために最も必要な「水の大切さ」をあらためて学習しました。

子どもの成長作品見て

乳幼児期家庭教育学級の活動成果をまとめた「笑顔いっぱいスクラップブック」作品展示が、わかさ・プラザで開かれました。学級は毎年5月～3月の間、満6カ月児～未就園児の家族を対象に市内6地域で開設し、運動会や読み聞かせなどを行っています。その活動を楽しむ子どもたちの写真を切り貼りし、1枚のスクラップ作品を作成。愛らしい子どもの健やかな成長を願う親子の力作が並びました。



こぼれ話



先日、関市国際交流協会主催のイベントで「凧づくりともちつき大会」に参加しました。この日は天気にも恵まれ、いい凧揚げ日和でした(笑)

私は、もちつきを担当することとなり、外会場でもちつきの準備。お昼が近づくと、参加者である市内在住の外国人の方々には、完成した凧を嬉しそうに揚げながら続々と会場に到着し、早速もちつきを開始! まず、私たちが杵でつき始めると、皆さん興味津々で、いつの間にか周りからは多くの熱い視線(?)が...

すぐに「やってみたい!」「次代わって!」と代わる代わる杵でつき、周りからは歓声上がるほど盛り上がりました。出来たお餅は大人気で、きな粉とあんこをまぶして、皆さんとワイワイ談笑しながら食べました。

私たち日本人もちつきをする機会が少なくなり、参加者の皆さんも初めて体験された方がほとんどでした。行事を通して、徐々に打ち解けながら多くの外国の方と笑顔で交流を深めることができたとと思います。このような日本の伝統文化を多くの方に体験してもらうことで、日本により親しみを持っていただければ嬉しいです。